

子どもたちに誇れる世羅を残してやりたい



世羅高原農場 新たな挑戦

世羅町別迫 世羅高原農場 吉宗五十鈴さん

「ワーすごい」と福山から来られた団体さん。高台からダリア園を見

た第一声。10月はダリアの最盛期。吉宗誠也さんと大学の同級生。五十鈴さんは志望して入った東京の雑誌社勤務を経て、7年後の04年に結婚し当地に移住。しかし、初めて来た夜の道は行けども山の中、涙が出そうでしたと振り返る。現在では、反田地区で19年ぶり生まれた一男の母。大切にしてもらっていると話す。

農園での五十鈴さんは、結婚して2年目までは、雑誌社など以前の生活に未練があった。この仕事に居場所が出来たのは、その後のことでしたと話され、新たな事業に挑戦中です。

①世羅の食材を集めた「お花見御前」
②バーベキューハウスを花カフェに店舗替え

③フラワーアレンジ教室開催

また、今秋の連休には、ダリアの花約3千個を使ったインフィオリータ（花絵写真）に挑戦、大好評を博した。「来年はチューリップを植え付けの時から花絵に配置して植付します」と張切っておられる。

「苦労話って??少しあります」経験豊かな農家の人を説得するには、エネルギーが必要ですが、最近、押し花

を使ったmyストラップ作成体験教室を開催。約千人の参加を得て、「五十鈴さんは、たいしたものだ」と褒められた。「しみじみ嬉しかった」と話される。「若い者は任せてもらえると、頑張れます」暖かく育てて欲しいと話された。この前の話「この農場は梨が美味しいですよ」と紹介したら「その梨農園に紹介してもらった」と言われた。お互いに連携することが必要と思うと話された。

行政に要望はと訪ねると、広島市など市の公共施設に世羅のパフレットをと、独自に持参しても相手にされない。行政であれば可能なことも。そんな後押しをお願いしたいとのこと。最後に「今は、どこの農園も大変な時期ですが、この努力が役立ち、この地の豊かな美しい自然を子どもたちに残し、誇れる世羅を作りたいと思います」と結ばれた。（福田義人）



世羅台せにいらっしやい



編集後記

議会の定例会は4回となぜ決まっている？ 先般「ローカルマニフェスト推進フォーラム」での講師、北川正恭氏の問いかけです。賢い人といわれるほど固定観念に縛られているのではとのこと。

議会が自治立法権をチェック機能とともに発揮しなくてはならないと再認識しました。政権交代で国も変わろうとしていますが、『あれもこれも』の時代から、財源確保を含めて『あれこれか』を今後の政策として提唱するべきです。もちろん、検証し住民に情報公開していただける町の転換に努力していかなければと思います。（奥田）

議会広報公聴
調査特別委員会

委員長／福田 義人
副委員長／松本 秀治
委員／西田美喜男・安佐 長秀
福田 豪・奥田 正和

議会を傍聴してみませんか
次回の定例会は12月です

日程は無線放送でお知らせします。
またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。